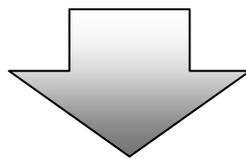


円卓会議・部会からの議論から見えてきた施策と事業

地域に根ざす魅力の活かし方に関する意見

- ① 上京区には日本の歴史と文化が凝縮されている（鋤柄）
- ② 地域の歴史，文化を知ることによって地域に愛着がわく（立木）
- ③ 京都のブランドの魅力を活かし，住む所（町家）や仕事を紹介する窓口を創設する（円卓会議）
- ④ 地域の住みやすさを知ってもらう取組を考える（円卓会議）
- ⑤ 魅力を伝える認識・手段・仕掛けが揃うと魅力を活かせる（部会）
- ⑥ 結婚しても住み続けられるように，町家や長屋の活用も含めて居住環境の充実を図る（円卓会議）
- ⑦ 空き家（発生）対策と既存住宅ストックの活用（住宅マスタープランの見直し）
- ⑧ 子育て世代の流出を防ぎ，流入を図るためにも，魅力ある教育環境を整える（円卓会議）
- ⑨ 魅力のある小学校で若い世帯を集め，地域活動につなげたい（部会）
- ⑩ 学校評価と学校運営協議会の一層の充実（21年度学校教育の重点）
- ⑪ 社会全体で子どもを育む（21年度学校教育の重点）
- ⑫ 学生の町，上京区として学生を温かく迎え入れることで，地域活性化を図る（円卓会議）
- ⑬ 商店が減り，夜店もなくなり人出がなくなった。賑わいを作り出す魅力が必要（円卓会議）
- ⑭ 商業振興でまちに賑わいをとりもどきたい（部会）
- ⑮ 歩いて買って食べて遊んで安心して楽しめる美しい京都の商業空間（京都市商業ビジョン2004）
- ⑯ 京都で働き暮らす人々の日常の暮らしを支える普段着の商業（京都市商業ビジョン2004）



施策1 住みたくなるまち上京の推進

上京区には、1200年の歴史に培われた文化が区民の普段着の生活の中に息づいています。区民の皆さんが、歴史・文化を楽しみ、上京区に住んでいることを誇りに思い、住み続けることができるまちづくりを進めます。また、番組小学校創設に表される区民の教育に対する熱意と大学のまちという財産、地域に密着した商店街などを生かして活力と賑わいを生み出す取り組みを進めます。

①+② ⇒ 事業：区民による文化活動の推進

- 具体事業例
- ・茶会，薪能（上京区文化振興会事業）の開催 区・民
 - ・上京区歴史探訪館事業との連携 区・民
 - ・歴史・文化関係のNPO等との連携 区・民

③～⑤ ⇒ 事業：地域の魅力の共有

- 具体事業例
- ・「史蹟と文化」の発行 区・民
 - ・上京区役所HPの充実と関連HPとのリンク 区・民

⑥+⑦ ⇒ 事業：住み続けることができる住まいづくりの促進

- 具体事業例
- ・高齢者向け優良住宅の供給促進 市・民
 - ・既存不適格建築物に対する公的価値の見直しと一般借家市場での流通の促進 市・民

⑧～⑪ ⇒ 事業：学区や小学校を拠点とした魅力ある教育環境の整備促進

- 具体事業例
- ・学校運営協議会と上京区「人づくり」ネットワークの充実 市・区・民

⑫ ⇒ 事業：大学と連携した地域の活性化

- 具体事業例
- ・「学まちコラボ事業（大学地域連携モデル創造支援事業）」の活用 区・民
 - ・大学・不動産業者・地域のネットワークの構築 区・民
 - ・大学生と地域を結ぶための大学と区役所機能の活用 区・民

⑬～⑯ ⇒ 事業：賑わいと暮らしを支える商業の振興

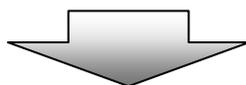
- 具体事業例
- ・商業を契機とした地域振興計画の策定 市・区・民
 - ・買い物代行や配達など、高齢者や障害者、全ての人に優しいサービスの検討 市・民

事業主体

市 ⇒ 市各局所管事業，区 ⇒ 区役所，区内行政機関所管事業，
民 ⇒ 区内各種団体，NPO，企業，大学主催事業

地域に根ざす魅力の伝え方に関する意見

- ① 四季に応じたイベントで地域の魅力をPRする（円卓会議）
- ② 上京区には日本の歴史と文化が凝縮されている（鋤柄）
- ③ 地域資源（平安京の内裏）を活かして、新しい観光ゾーンを構築する（円卓会議）
- ④ 行列のできるチンチン電車を復活させたい（部会）
- ⑤ 堀川に関係する公共事業に夢を加えて地域を活性化させたい（部会）
- ⑥ 西陣は、平安時代に遡る仏像が集中しているほか、鎌倉時代の特徴も色濃く残している。また、京都文化・日本映画の発祥地（鋤柄）
- ⑦ 西陣のワザを活かした体験型観光ネットワークを構築したい（部会）
- ⑧ 和装産業に代わる新しい産業の振興・育成を図り、就業環境を整える（円卓会議）
- ⑨ 西陣地域の新しいまちづくりプランによる和装産業の振興を図る（円卓会議）
- ⑩ 線でつながる観光・魅力を発信したい（部会）
- ⑪ 「受入環境（案内）整備」と「外客の誘致」（新京都市観光推進計画）
- ⑫ 上京らしい伝統を守る（部会）
- ⑬ 町並みと伝統的な建造物の保全・再生（新景観政策）



施策2 訪れたいまち上京の推進

上京は、源氏物語の舞台である平安宮、室町幕府の花の御所、安土桃山文化を代表する聚楽第など、日本の歴史の中心地でありました。また今でも、茶道、華道、和歌に代表される伝統文化、西陣織や千家十職に代表される伝統工芸、能・狂言などの伝統芸能などが盛んで、上京区は、まさに日本の歴史文化の宝庫です。このような上京が誇る地域の財産や魅力を活用して、誰もが上京区を訪れたい取り組みを進めます。

① ⇒ 事業：地域が持つ財産と魅力を生かしたイベントの創生

- 具体事業例
- ・「京の七夕事業（仮称）」の実施（京都仏教会・京都市連携事業） 市・民
 - ・上京区歴史探訪館事業との連携（再掲） 区・民
 - ・歴史・文化関係のNPO等との連携（再掲） 区・民

②～⑩ ⇒ 事業：地域が持つ財産と魅力の分かりやすい紹介と発信

- 具体事業例
- ・WEB歴史・文化・観光案内所の開設 区
 - ・西陣をキーワードとした観光商業集積の振興 区・民
 - ・観光案内ボランティアの養成と活用制度の構築 区・民

⑪＋⑫ ⇒ 事業：上京らしい町並みと町家の保存・再生

- 具体事業例
- ・市街地景観整備条例の活用（上京北野界わい景観整備地区、千両ヶ辻界わい景観整備地区、上京小川歴史的景観保全修景地区） 市・民